

音読 (Read Aloud)

□所要時間	30 分程度
□主なスキル	音声のインプット (リスニング)
□形式	個人、その後ペア、クラス
□概要とねらい	
多読により、視覚的なインプットは大量に得られますが、音声のインプットは限られています。昨今は付属の CD 等で音声聞ける多読図書およびサービスも増えていますが、実際に自分が声に出してみると、発音や音の効果など、黙読や単に聞くだけでは気づかなかった部分に着目することができます。他の人の音読を聞くことで、解釈の仕方の違いに気づくこともあります。クラスで一体となって一冊の本に集中することで一体感が生まれる効果も期待できるでしょう。ここではクラスで同じ本を音読することを前提にした音読を紹介します。	
□事前準備 (必要な教材、器具など)	
音源、再生機器の用意 本 (実物が人数分あると最もやりやすいが、足りない場合はペアもしくはグループでシェアするなどして工夫)	
□手順	
1. 音読する前に、まずは黙読し内容を理解する。 2. 音源を聴く、もしくは教員が読み聞かせをする。 3. ペアで交互に音読をする。 4. クラスで担当を決めて音読する。 5. 内容理解のクイズ (オプション)・解説など実施する。	

【学生の反応】

- 本を声に出して読み、より理解が深まりました。
- 久々に音楽 (音読) をしたので単語の発音が不安だった。
- 4 回読み進めるにつれて内容が定着してきたのを身をもって感じられてたのしかったです。
- 絵を見ながら読むことで楽しみや理解も深まると思いました。
- 声に出すと本をゆっくり観察できるので、絵をじっくり見ることができてより本のことを理解できると思いました。
- 音読はあまりしないので新鮮だった。

- ・ 中学校のとき以来だったのでおもしろかった。

【応用・解説】

指導ポイント

大学生になると、感情を込めて読むことに恥ずかしさを感じるのか、また発音が気になるのか、小さな声でぼそぼそとしか音読をしようとしません。ペアでやってもらうことで、少なくとも相手には聞こえるように声を出そうと努力してくれるので、誰かと一緒に音読をしてもらうことが大事です。また、クラスで一人を指名したりすると過度に緊張させてしまう場合もあるので、原則指名はしないようにしたほうがよいでしょう。

なお、音読にしっかり取り組んでももらいたい場合には、ペアの相手に書き取りをしてももらうという方法もあります。こうすると、より丁寧にわかりやすく大きな声で読むようになります。ただし書き取りにはかなり時間がかかるため、行うとしてもテキストのごく一部で実施するとよいでしょう。

発音などが気になる場合は、教員が読み聞かせをしたり、CDなどを活用して、標準的な例を示すこともできます。最近では YouTube に読み聞かせやアニメーション化されたビデオクリップがアップされている場合も多々あるので、うまく活用すると興味を掻き立てる助けになります。ただし、音を流しているだけで、注意力が散漫になったり、結局理解できなかったりという場合もあるので、注意が必要です。

教員による読み聞かせも、大学生相手に幼稚ではないかという懸念があるかもしれませんが、幼い頃の読み聞かせを懐かしく思い出すらしく、意外にも好意的に受け止められます（「読み聞かせ」の解説を参照）。教員が文章に合わせておおげさに読み方を変えたりすると、読み方によってイメージが変わることが伝わります（大島,2011）。例えば、楽しそうな文章は元気よくハイトーンで読んだり、繰り返されるフレーズの読み方を変えてみると、演劇に接したときのように解釈の幅を実感できるはずです。

なお、音読だけで終了ということも可能ですが、テストではなく、ちょっとした内容確認のタスクや作品のポイントを紹介すると、読んだ本への理解がさらに深まり、新たな気づきを促すことができます。

このアクティビティに適した図書

- ・ Remy Charlip. (1964). *Fortunately*. Aladdin Paperbacks.
- ・ Simms Taback. (1999). *Joseph Had a Little Overcoat*. Viking Books for Young Readers.
- ・ Shel Silverstein. (1964). *The Giving Tree*. HarperCollins

など。上記絵本については、本 HP の絵本紹介をご参照ください。

なお、大学生の読むスピードの平均が1分100語であることを考えると、500語程度の作品が適していると言えます。5分以上の音読は時間もかかり、飽きてしまう可能性もあります。少し長いものは読み聞かせのほうがよいでしょう。

参考文献

大島笑美 (2011). 『声に出して読む英語絵本: 初めてのリードアラウド』 中央公論新社

(文責：小林めぐみ)